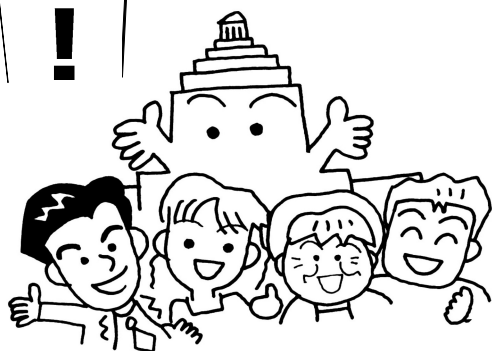


戦争はイヤだ！

政治を変えよう 選挙に行こう！



疑惑隠し、追い込まれ解散

突然の解散総選挙となりました。安倍首相は「国難突破解散」などと言いますが、実は、森友・加計学園疑惑から逃れるための「疑惑隠し解散」です。野党が要求したのに三か月間「臨時国会」を開かず、やっと開いたら冒頭解散など、究極の政治の私物化、国会私物化、選挙の私物化です。このような憲法違反の暴挙は許されません。総選挙で、安倍政権退場のきっぱりとした審判をくだしましょう。

■「対話」こそ北朝鮮問題解決の道、戦争を起こさない一番の保証



北朝鮮問題の解決で一番大切なのは、「戦争を起こさないこと」です。経済制裁の強化とともに、直接的な対話をすすめることでこそ、解決の道が開かれます。「対話に意味がない」などと、軍事的圧力一辺倒の安倍政権では問題が深刻化するばかりです。憲法9条を生かした外交の出番です。

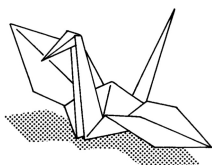
■9条壊すな！安倍首相の「9条加憲」ストップ

自民党は、選挙が終われば、「2020年を新しい憲法施行の年に」として「安倍9条改憲」をすすめるようとしています。憲法9条に、「戦場で武力行使をする軍隊」としての「自衛隊」を書き加える明文改憲案では9条2項が死文化します。「海外で無制限に武力行使できる『戦争する国』への道＝憲法9条破壊」は許されません。



■核禁止条約に参加する政府をつくろう

歴史上はじめて核兵器を違法化した「核兵器禁止条約」が来年には発効します。ところが、唯一の戦争被爆国でありながら、日本政府はこの条約に参加しようとしていません。被爆者は、「あなたはどこの国の首相ですか」と安倍首相に迫りました。総選挙で国民の願いを示して、核兵器禁止条約に参加する政府をつくりましょう。



憲法を守り、いかす政治に変えよう！

戦後最低の投票率だった前回2014年総選挙。その結果、多数をとった自公政権によって、戦争法や「共謀罪」法が強行されました。「どうせ政治は変わらない」とあきらめれば、「戦争への道」を許してしまうことになりかねません。市民と立憲野党は、「戦争法廃止」「憲法を守り生かす政治の実現」「格差と貧困の解消」を求めて、共同をすすめてきました。この道にこそ未来があります。



安倍9条改憲NO！全国統一署名にご協力ください